

# 神奈川工科大学新型コロナ対策概要

本学では、感染防止のため次の対応・対策をとっております。（一部予定を含みます）

## 1. 大学内入構（水際）対策

「検温・体調確認ステーション」を設置し特別許可を得て入構する学生の皆さんは全員必ずこのステーションによって瞬時検温表示スクリーンにて体温を確認及び体調確認を行ってから入構いただきます。国内の感染が収まり、大学内への入構に特別許可を要しなくなった後は、自動検温ステーションとして活用します。

## 2. 3密（密閉・密集・密接）対策

- （1）講義室には距離を空けた着席指定シールを貼り、図書館は席数を間引きし、身体的距離を確保。
- （2）自主学習ロビーや食堂等のマスクを外し飲食する場所には、席数の削減に加え、飛沫防止板（本学K A I T工房にて製作）を配置。
- （3）学生サービス全部署のカウンターに、飛沫防止板を設置。

## 3. 消毒等

- （1）講義室・食堂・自主学習ロビーは閉館日を除き毎朝（一部夕方）全室、机の天板・ドアノブのアルコール消毒を実施。また、すべての建物のエレベータ行先ボタン、トイレ内のレバー・水栓も同様毎朝消毒実施。
- （2）守衛室及び各建物入口に手消毒用アルコールを設置。講義室がある建物は全フロアに消毒用アルコールを設置。食堂内には複数の消毒用アルコールを設置。
- （3）全教員に、ハンディアルコール消毒スプレーを配付し、授業等で触れる場所の細かい消毒を実施。なお講義用マイクには使い捨てカバーをかぶせ教員ごとに交換。

## 4. 発熱者等対応設備

- （1）大学内での発熱者対応専用スペースとして、専用ドームテント（冷房付）を健康管理室のすぐ近く（屋外）に設置し、万一の感染拡大を防止。
- （2）発熱者の移動用車両（運転者と発熱者間の空気隔離仕様）を配備予定。

## 5. 万一の感染者発生に備えた対策

消毒センターを設置。消毒薬・噴霧器・防護服を配備し、発症者が出た場合の速やかな消毒作業が可能。保健所との事前の消毒作業打合せ実施済。

以 上